

石油ストーブでの火災

事故の概要

【事例①】住宅がほぼ全焼し、1人が軽傷を負った。

【事例②】近辺の複数の住宅が全半焼し、1人がやけどを負った。

【事例③】住宅が全焼し、1人が死亡、1人が軽傷を負った。

事故の原因

【事例①】

給油の際に石油ストーブを消火せず、また、給油タンクのふたが確実にしまっていないなかったため、灯油がこぼれて引火したものです。

【事例②】

石油ストーブの上部に干していた洗濯物がストーブの上に落下して、引火したものです。

【事例③】

石油ストーブに灯油と間違えてガソリンを給油したため、異常燃焼を起こしたものです。

【再現実験】



タンクから漏れた灯油に引火しました



上部に干した洗濯物に引火しました



誤ってガソリンを給油したため発火しました



事故防止のために

- ◆ 給油の際は、必ず消火してから行ってください。
- ◆ 給油した後は、給油タンクのふたを確実にしめ、灯油が漏れないか確認してください。
- ◆ 洗濯物の乾燥等、機器の上部や周囲に可燃物を置かないでください。
- ◆ ガソリンは使用しないでください。

